

# 今年度の研究について

## 学校の重点目標 「わかる・できる・楽しい授業」

みんなが学習に主体的に参加できる、学習場面で活躍できる、仲間と学び合える、「課題探求的な学習」を目指していく。

## 研究テーマ 「先生も子どもも笑顔で、日々を大切にできる研究」

### テーマ別ブロック

	テーマ	どんな子どもの姿を目指すか
1	子ども理解・学級経営 学習の基盤としての	自分から学びたくなる。 解決したい！という気持ちになる。
2		みんなが参加できる。 一人ひとりが学習場面で活躍できる。
3		自分の思いを素直に表せる。 みんなで力を合わせて学ぶ。
4		本時の学びを確かにし、次につなげる。 ふりかえりで成長を感じる。

### ＜研究のおおまかな流れ＞

1 学びたいテーマを4つの中から1つ選び、テーマ別ブロックに分かれる。

課題づくり

教材化・教材の工夫

交流

振り返り

2 学級の実態をもとに、個人目標を立てる。

例)「課題づくり」ブロックの先生なら…

- 授業の中で「なぜだろう?」「もっと知りたい!」と自ら問い合わせ立てて、その答えを探すプロセスを楽しむ授業
- 課題に夢中になり、自分たちで考えたり工夫したりしながら進めていく授業
- 子どもたちが意見や考えを出し合い、それをつなげていくことで新たな発見や解決策を生み出す授業 など

3 テーマ別ブロックごとに「AARサイクル (Anticipation 見通し・Action 行動 (授業)・Reflection 振り返り (共有)」を小スパンで行う。



①教科書を持ち寄って、授業のアイデアを出し合う。 **Anticipation**

②授業をする。 **Action**

※テーマとかかわる部分について、テーマ別ブロック内で授業公開する。

(日常の授業・指導案必要なし・部分的でOK・録画でもOK・児童の作品やワークシート、ノート等でもOK)

③授業後の振り返りをワークシートに記入する。 **Reflection**

次に取り組みたいことを決める。 **Anticipation**

4 テーマ別ブロックの学びを、発表する。(時期は各ブロックで決める)